

## 社会福祉士・精神保健福祉士科

### ●養成目的

多様化する社会の中で自ら粘り強く問題解決できる、社会福祉士・精神保健福祉士を養成する。

### ●教育目標

様々な分野におけるフィールドワークと日常的な福祉現場での経験を通して、ソーシャルワーカーの視点で問題解決する力を身に付けることができる。また、結果として国家試験に合格する力も身につけられる。

### ●取得目標資格

資格名	必・選	認定団体	認定方法
社会福祉士受験資格	必	厚生労働省	必要な指定科目を履修し取得
精神保健福祉士受験資格	必	厚生労働省	必要な指定科目を履修し取得
社会福祉主事任用資格	必	厚生労働省	必要な指定科目を履修し取得
JESC認定カウンセラー	必	滋慶教育科学研究所	指定科目を履修し、試験合格後資格取得
おもてなしマスター検定	必	キャリア教育総合研究所	指定科目を履修し、試験合格後資格取得
移動介護従事者	必	東京都	講習を受講し資格取得

## 社会福祉士一般養成科昼間課程

### ●養成目的

地域の社会資源(システム・制度等)を活用し、多職種と連携を図って問題解決をする力をもった社会福祉士を養成する。

### ●教育目標

現場体験プログラムと演習の授業を軸として、福祉現場・医療機関等で働く上で必要な実践力と国家試験に合格する力を身につける。

### ●取得目標資格

資格名	必・選	認定団体	認定方法
社会福祉士	必	厚生労働省	国家試験合格後、登録

## 精神保健福祉士一般養成科

### ●養成目的

地域の社会資源(システム・制度等)を活用し、多職種と連携を図って問題解決をする力をもった精神保健福祉士を養成する。

### ●教育目標

現場体験プログラムと演習の授業を軸として、福祉現場・医療機関等で働く上で必要な実践力と国家試験に合格する力を身につける。

### ●取得目標資格

資格名	必・選	認定団体	認定方法
精神保健福祉士	必	厚生労働省	国家試験合格後、登録

## 介護福祉士科

### ●養成目的

多様化する高齢者に対して、ホスピタリティを提供できる介護福祉士になる。

※ホスピタリティとは、期待を超えるサービスのことを示す

### ●教育目標

高齢者サロンなど、様々な場面で高齢者と関わるプログラムを中心に

- ①介護福祉士としての倫理観を持つことができる。
- ②対象者の個別ニーズに沿った介護計画作成と満足度を高める現場力を持つことができる。
- ③自問自答して研鑽し続ける習慣を身に付ける。

### ●取得目標資格

資格名	必・選	認定団体	認定方法
介護福祉士 受験資格	必	厚生労働省	指定科目履修後取得(在学中に受験)
コミュニケーションスキルアップ検定	必	滋慶教育科学研究所	指定科目履修、試験合格後取得
生きがい情報士	必	健康・生きがい開発財団	指定科目履修、試験合格後取得
福祉英語検定	必	医療・福祉英語検定協会	指定科目履修、試験合格後取得
おもてなしマスター検定	必	キャリア教育総合研究所	指定科目履修、試験合格後取得

## 介護福祉士養成科

### ●養成目的

多様化する高齢者に対して、ホスピタリティを提供できる介護福祉士になる。

※ホスピタリティとは、期待を超えるサービスのことを示す

### ●教育目標

本校独自のキャリア教育カリキュラムを通じて、

①介護福祉士としての使命感を持ち、チームで協働する力を身につけることができる。

②介護福祉士としての倫理観を持つことができる。

③対象者の個別ニーズに沿った介護計画と満足度を高める現場力を持つことができる。

### ●取得目標資格

資格名	必・選	認定団体	認定方法
介護福祉士 受験資格	必	厚生労働省	指定科目履修後取得 (在学中に受験)

# 介護福祉士科夜間課程

## ●養成目的

現場力とコミュニケーション力に優れ、高いホスピタリティマインドを発揮する介護福祉士を養成する。

※現場力とは、以下をいう。

利用者及びその介護者の個別ニーズを理解しそれを介護実践出来る力。

チームと連携を取り利用者及びその介護者ニーズを把握し満足度を高める力

## ●教育目標

夜間課程の特性を活かしたワーク&スタディ制度や独自の現場プログラムをもって

- ①介護福祉士としての使命感を持ち、チームで協働する力を身に付ける。
- ②介護福祉現場で力となる倫理観を育てる。
- ③高齢者・障害者の自立支援ができる高いコミュニケーション能力を身につけ、それを実践し、利用者及びその介護者の満足度を高める現場力を持つことができる。
- ④在学中の現場実務経験により、卒後いち早く介護支援専門員の取得を目指す。
- ⑤現場経験と介護の原理・原則を、しっかり結びつけることができる。

## ●取得目標資格

資格名	必・選	認定団体	認定方法
介護福祉士	必	厚生労働省	卒業時受験資格、受験・合格後取得
コミュニケーションスキルアップ検定	必	滋慶教育科学研究所	指定科目履修、試験合格後取得
おもてなしマスター検定	必	滋慶教育科学研究所	指定科目履修、試験合格後取得
生きがい情報士	必	財)健康・生きがい開発財	指定科目履修、試験合格後取得
福祉英語検定	必	医療・福祉英語検定協会	指定科目履修、試験合格後取得

## 作業療法士科

### ●養成目的

医療的なスキルと福祉的なマインドを兼ね備えて地域福祉サービスに貢献できる作業療法士を養成します。

### ●教育目標

- ①作業療法士国家試験を合格する力を身に付ける
- ②人間に興味を持ち、人の生活を考えることができる
- ③地域福祉・社会資源についての知識を持ち、他職種と連携できる力をもつ

### ●取得目標資格

資格名	必・選	認定団体	認定方法
作業療法士受験資格	必	厚生労働省	指定科目を履修し、国家試験受験資格を認定
コミュニケーションスキルアップ 検定	必	JESC	認定検定

## 作業療法士科夜間課程

### ●養成目的

医療的なスキルと福祉的なマインドを兼ね備えて地域福祉サービスに貢献できる作業療法士を養成します。

### ●教育目標

- ①作業療法士国家試験を合格する力を身に付ける
- ②人間に興味を持ち、人の生活を考えることができる
- ③「ワーク&スタディ」を通して現場を知り、他職種と連携できる力をもつ

### ●取得目標資格

資格名	必・選	認定団体	認定方法
作業療法士受験資格	必	厚生労働省	指定科目を履修し、国家試験受験資格を認定
コミュニケーションスキルアップ 検定	必	JESC	認定検定

## こども保育福祉科

### ●養成目的

児童福祉・幼児教育現場において、多様な子ども・家庭に合わせた支援・指導ができる保育士・幼稚園教諭になる。

### ●教育目標

こども教室、地域の保育現場との連携授業を軸とした現場プログラムにより、こどもへの理解を深め、保育者としての表現と感性を身に付ける。

### ●取得目標資格

資格名	必・選	認定団体	認定方法
保育士	必	厚生労働省	近畿大学九州短期大学通信教育を併修し、卒業時までに全単位取得で資格取得
幼稚園教諭2種免許	必・選	文部科学省	近畿大学九州短期大学通信教育を併修し、卒業時までに全単位取得で資格取得
社会福祉主事任用資格	必	厚生労働省	近畿大学九州短期大学通信教育を併修し、卒業時までに全単位取得で資格取得
JESC 認定カウンセラー	必	滋慶教育科学研究所	卒業時までに指定科目を履修し受験して取得

## こども保育福祉科 夜間課程

### ●養成目的

児童福祉・幼児教育現場において、多様な子ども・家庭に合わせた支援・指導ができる保育士・幼稚園教諭になる。

### ●教育目標

独自の現場教育プログラム(ワーク&スタディ)により、現場で即戦力となる、こども理解の力と知識・技術を身につける。

### ●取得目標資格

資格名	必・選	認定団体	認定方法
保育士	必	厚生労働省	近畿大学九州短期大学通信教育を併修し、卒業時までに全単位取得で資格取得
幼稚園教諭2種免許	必・選	文部科学省	近畿大学九州短期大学通信教育を併修し、卒業時までに全単位取得で資格取得
社会福祉主事任用資格	必	厚生労働省	近畿大学九州短期大学通信教育を併修し、卒業時までに全単位取得で資格取得



## キャリアデザイン・コミュニケーション科

### ●養成目的

コミュニケーション力（日常生活スキル）とキャリアデザイン力（進路を選ぶ・決める力）を体験型授業を通して、「自分にできた」、「できそう」と思える経験から自己肯定感を持って進路を決めることを目的とする。

### ●教育目標

全ての学校生活を通して、社会人としての基本である「笑顔で挨拶」・「清掃」・「時間管理」を自らできるようになる。

## こども保育福祉科 夜間課程

### ●養成目的

児童福祉の現場において、継続的に活躍できる保育士を養成する。

### ●教育目標

保育士試験対策授業及びデュアル実習により保育士として働くために必要な知識・技術を身に付ける。

### ●取得目標資格

資格名	必・選	認定団体	認定方法
保育士	必	厚生労働省	近畿大学九州短期大学通信教育を併修し、卒業時までに全単位取得で資格取得